

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
(その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店
なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ
信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 (フリーダイヤル)
0120-244-479 (証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

公 告 方 法 電子公告
当社ホームページ
(<http://www.shinsho.co.jp>) に掲載いたします。
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得
ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単 元 株 式 数 1,000株

神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp>
最新の当社IR情報等をご覧いただけます。



KOBELCO
神戸製鋼グループ

株主・投資家のみなさまへ 第89期 報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

つくる、むすぶ、ひらく。

 **神鋼商事** 株式会社

〒550-8512 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号

電話 (0120)580-217

<http://www.shinsho.co.jp>

 **神鋼商事** 株式会社
証券コード：8075

私たちは誠実をモットーに、
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりと、
みんなの幸せをめざします。

C O N T E N T S

企業理念	1
株主のみなさまへ	2
事業活動の成果	3・4
連結部門別概況	5・6
連結決算	7・8
単独決算	9・10
トピックス	11
おかげさまで60周年	12
株式の状況	13
役員／会社概要／事業所／連結子会社	14

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援とご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、第89期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の事業の概況ならびに諸計算を別項のとおりご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当社は昨年11月に創立60周年を迎えることができ、また、連結業績につきましては当社創立以来過去最高の結果となりました。

つきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするため、期末配当を1株につき普通配当6円、記念配当1円の計7円とさせていただきました。

株主のみなさまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



代表取締役社長
森脇 亞人

事業活動の成果

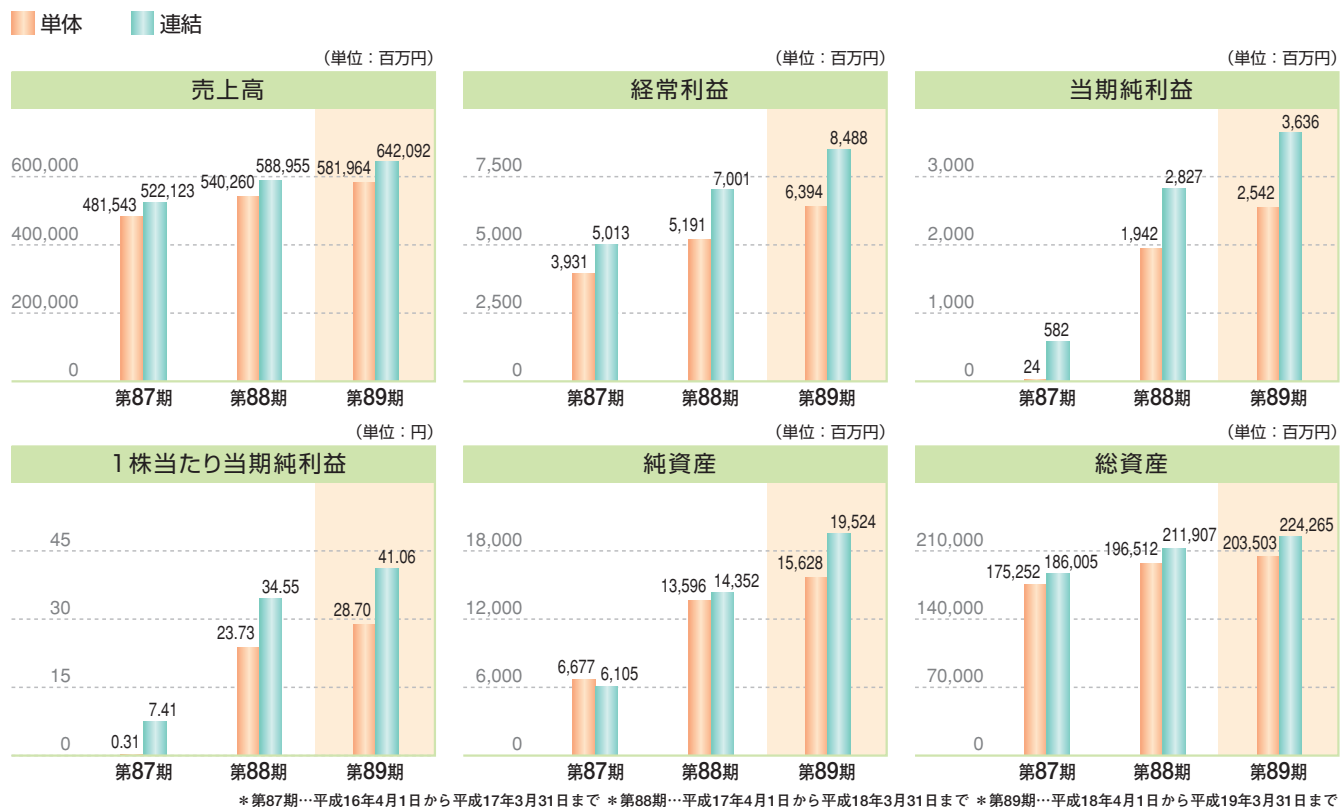
事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加や、中国を中心としたアジア経済の拡大に加え、雇用情勢の改善から個人消費が底堅く推移したことなどにより、景気は回復基調を辿ってまいりました。

このような環境におきまして、当社グループは、自動車、造船、デジタル家電、半導体などの需要家業界が好調であったことや、原材料価格が高騰したことなどにより、鉄鋼セグメント、非鉄金属セグメントを中心に増収増益となりました。一方、新たな事業展開として中国において、蘇州市にユーザーニーズに対応するため物流

加工機能を持つアルミコイルセンター「蘇州神商金属有限公司」を設立したほか、上海市に国内販売ならびに輸出入権を有する「神鋼商貿（上海）有限公司」を設立、営業を開始しており、中国を中心に海外ビジネスの強化拡充に取組むなど、神戸製鋼グループにおける中核商社としての機能を発揮して国内外ビジネスを積極的に展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は6,420億92百万円と前年度に比較して9.0%の増加となり、営業利益は86億54百万円と前年度に比較して10.6%の増加となったこと



から、経常利益は84億88百万円と前年度に比較して21.2%の増加となりました。一方、特別利益として固定資産売却益および投資有価証券売却益など2億3百万円を、特別損失として投資有価証券評価損および関係会社整理損など22億16百万円をそれぞれ計上しました結果、特別損益計上後の当期純利益は36億36百万円と前年度に比較して28.6%の増加となりました。

なお、当期の単独業績につきましては、売上高は前年度比7.7%増加の5,819億64百万円となり、営業利益は前年度比12.4%増加

の64億5百万円、経常利益は前年度比23.2%増加の63億94百万円と大きく改善しました。また当期純利益も前年度比30.9%増加の25億42百万円となりました。このような状況のなか、当期の配当につきましては、1株当たり普通配当を前年度比1円増加の6円とするとともに、創立60周年を記念して株主の皆さまへの感謝の意を表すため1株当たり記念配当1円を加え、7円とさせていただきます。

見通し

今後の経済情勢は、米国の景気減速、金利・為替の動向および原材料価格の変動など懸念材料はあるものの、企業業績の改善や需要の増加などを受けて民間設備投資は好調に推移するとともに、中国を中心としたアジア経済は拡大を続けるものと見られることから、景気は回復基調を継続するものと思われま。

このような経済環境の下、平成19年度の当社グループの連結売上高は6,840億円、営業利益82億円、経常利益77億円、当期純利益40億円を見込んでおります。

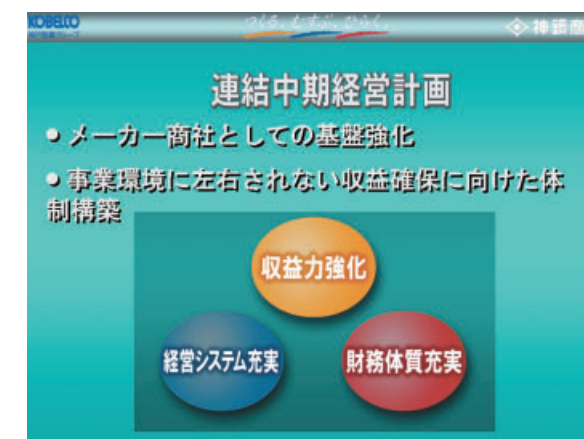
〔平成20年3月期の連結業績予想〕

	平成19年3月期実績	平成20年3月期予想	増減率
売上高	6,420億92百万円	6,840億円	6.5%
営業利益	86億54百万円	82億円	△ 5.2%
経常利益	84億88百万円	77億円	△ 9.3%
当期純利益	36億36百万円	40億円	10.0%

対処すべき課題

当社グループは平成18年度を初年度とする3ヵ年の「連結中期経営計画」において、目標ビジョンである「メーカー商社としての基盤強化」および「事業環境に左右されない収益確保に向けた体制構築」の達成に向け、「収益力強化」、「経営システム充実」および「財務体質充実」の3つの重点施策を推し進めてまいります。

株主の皆さまには、今後とも良きご理解と格別のご支援・ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

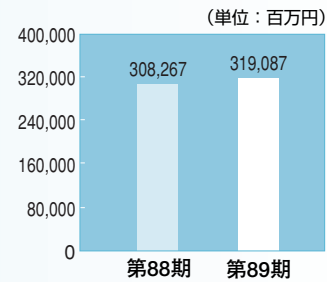


連結部門別概況

鉄鋼セグメント



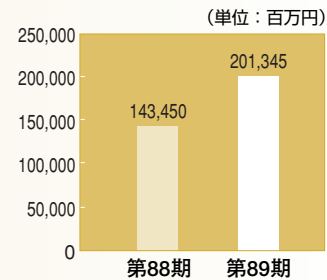
鉄鋼製品は、引続き自動車、造船等製造業向けの需要が堅調に推移したことに加え、国内においては活発な民間設備投資や再開業に伴い建設分野も底堅く推移し、輸出においても、自動車分野向けを中心とした高級鋼材が好調を維持したことなどにより売上高は増加しました。一方、鉄鋼原料は、合金鉄、チタン原料、石炭、スクラップ、その他諸原料が堅調でしたが、コークス等の取扱いが減少したことにより売上高は減少しました。これらにより鉄鋼セグメントの売上高は前年度比3.5%増加の3,190億87百万円となりましたが、営業利益は前年度比3.1%減少の39億12百万円となりました。



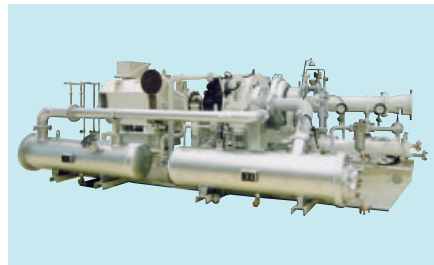
非鉄金属セグメント



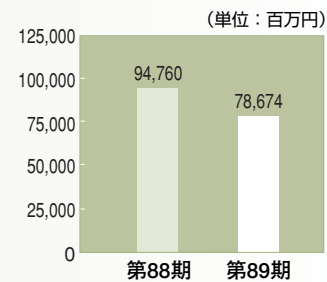
銅製品は、デジタル家電と半導体が好調を維持し、端子コネクタや半導体素材向けの板条需要が堅調であったことにより取扱いが増加しました。また、アルミ製品は、自動車および空調向け板条、デジタル家電向け押出材、液晶製造装置メーカー向け鋳鍛品等の加工品が好調に推移したことにより取扱いが増加しました。さらには銅原料価格が高騰したことから、非鉄金属セグメントの売上高は前年度比40.4%増加の2,013億45百万円となり、営業利益は前年度比48.1%増加の27億50百万円となりました。



機械・情報セグメント

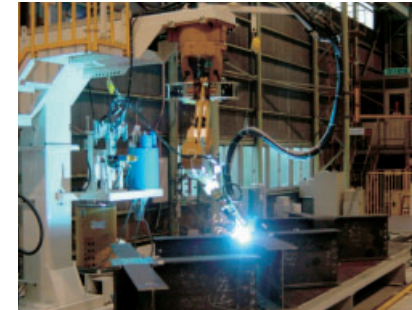


機械製品は、主要顧客である化学業界、鉄鋼業界の設備投資が引続き堅調に推移したことにより、国内向け機械の取扱いは前年より増加しましたが、クランクシャフト等の鋳鍛鋼の取扱いを鉄鋼セグメントに移管したことから売上高は減少しました。また、情報産業関連商品は、デジタル家電業界の好調維持により、ハードディスク関連装置の取扱いが増加し

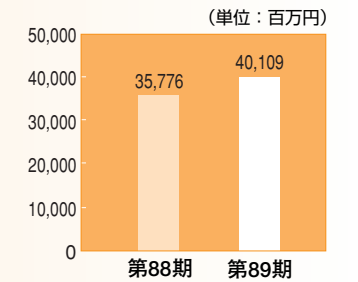


ましたが、液晶パネル配線膜材料（ターゲット材）と半導体検査受託ビジネスの取扱い等の減少により売上高は減少しました。これらにより機械・情報セグメントの売上高は前年度比17.0%減少の786億74百万円となり、営業利益は前年度比3.2%減少の12億14百万円となりました。

溶材セグメント



主要需要家である造船業界、建設機械業界および自動車業界の好調な生産および設備投資に支えられ、溶接材料、溶接機材、生産材料の取扱いがともに増加しました。さらに、プラント業界もエネルギーインフラ関連および化学機械関連需要の増加により、高付加価値溶接材料が好調に推移しました。これらにより溶材セグメントの売上高は前年度比12.1%増加の401億9百万円となり、営業利益は前年度比19.5%増加の4億99百万円となりました。

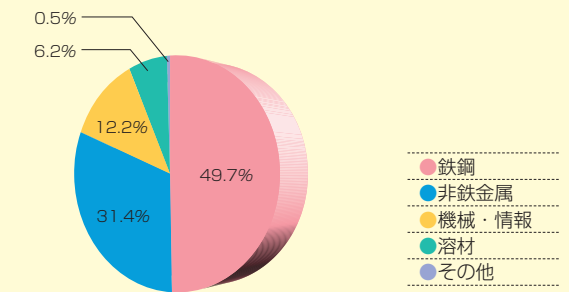


連結 部門別売上高の構成

(単位: 百万円)

セグメント	第89期	第88期
鉄 鋼	319,087	308,267
非 鉄 金 属	201,345	143,450
機 械 ・ 情 報	78,674	94,760
溶 材	40,109	35,776
そ の 他	3,111	6,845
(消去または全社)	△ 236	△ 144
合 計	642,092	588,955

連結

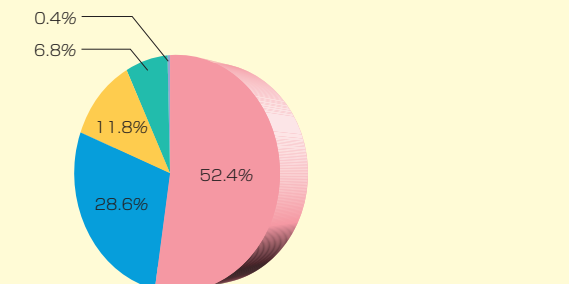


単独 部門別売上高の構成

(単位: 百万円)

セグメント	第89期	第88期
鉄 鋼	304,991	294,141
非 鉄 金 属	166,599	115,798
機 械 ・ 情 報	68,637	89,058
溶 材	39,666	35,423
そ の 他	2,071	5,837
合 計	581,964	540,260

単独



連結決算

貸借対照表

(百万円未満切り捨て)

科目	(百万円)	
	第89期 平成19年3月31日現在	第88期 平成18年3月31日現在
資産の部		
流動資産	194,926	183,079
現金および預金	5,154	4,887
受取手形および売掛金	162,876	151,936
たな卸資産	20,898	20,011
繰延税金資産	700	826
その他	5,942	5,834
貸倒引当金	△ 646	△ 416
固定資産	29,338	28,827
有形固定資産	7,747	11,067
建物および構築物	4,168	4,663
機械装置および運搬具	805	936
土地	2,555	5,242
その他	218	224
無形固定資産	794	956
ソフトウェア	685	807
諸施設利用権	33	73
その他	75	74
投資その他の資産	20,795	16,803
投資有価証券	14,827	13,394
出資金	535	548
長期貸付金	3,151	211
前払年金費用	1,147	940
繰延税金資産	461	143
その他	2,357	2,980
貸倒引当金	△ 1,685	△ 1,416
資産合計	224,265	211,907

科目	(百万円)	
	第89期 平成19年3月31日現在	第88期 平成18年3月31日現在
負債の部		
流動負債	190,779	184,011
支払手形および買掛金	152,361	135,454
短期借入金	31,091	41,124
未払法人税等	1,593	2,336
賞与引当金	923	862
その他	4,808	4,233
固定負債	13,961	11,480
長期借入金	11,880	9,650
預り保証金	666	743
繰延税金負債	38	263
退職給付引当金	165	147
役員退職慰労引当金	29	21
債務保証損失引当金	450	450
負ののれん	582	-
その他	149	204
負債合計	204,740	195,492
少数株主持分	-	2,062
資本の部		
資本金	-	5,650
資本剰余金	-	2,703
利益剰余金	-	4,330
その他有価証券評価差額金	-	2,652
為替換算調整勘定	-	△ 974
自己株式	-	△ 9
資本合計	-	14,352
負債、少数株主持分および資本合計	-	211,907
純資産の部		
株主資本	15,886	-
資本金	5,650	-
資本剰余金	2,703	-
利益剰余金	7,546	-
自己株式	△ 14	-
評価・換算差額等	1,824	-
その他有価証券評価差額金	2,529	-
繰延ヘッジ損益	55	-
為替換算調整勘定	△ 759	-
少数株主持分	1,813	-
純資産合計	19,524	-
負債および純資産合計	224,265	-

損益計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(百万円)	
	第89期 平成18年4月1日～平成19年3月31日	第88期 平成17年4月1日～平成18年3月31日
売上高	642,092	588,955
売上原価	619,151	567,680
売上総利益	22,941	21,274
販売費および一般管理費	14,287	13,448
営業利益	8,654	7,825
営業外収益	1,226	1,009
営業外費用	1,393	1,833
経常利益	8,488	7,001
特別利益	203	832
特別損失	2,216	2,819
税金等調整前当期純利益	6,475	5,014
法人税・住民税および事業税	2,990	2,730
法人税等調整額	△ 372	△ 791
少数株主利益	220	248
当期純利益	3,636	2,827

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(百万円)	
	第89期 平成18年4月1日～平成19年3月31日	第88期 平成17年4月1日～平成18年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,839	3,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,388	△ 988
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,308	△ 2,414
現金および現金同等物に係る換算差額	137	126
現金および現金同等物の増減額(減少:△)	280	△ 6
現金および現金同等物の期首残高	4,840	4,804
新規連結による現金および現金同等物の増加額	34	43
連結除外による現金および現金同等物の減少額	△ 1	-
現金および現金同等物の期末残高	5,153	4,840

株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日 残高	5,650	2,703	4,330	△ 9	12,674	2,652	-	△ 974	1,677	2,062	16,415
当連結会計年度中の変動額											
過年度税効果調整額			22		22						22
剰余金の配当(注)			△ 442		△ 442						△ 442
当期純利益			3,636		3,636						3,636
自己株式の取得				△ 4	△ 4						△ 4
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)					-	△ 123	55	215	146	△ 249	△ 102
当連結会計年度中の変動額合計	-	-	3,215	△ 4	3,211	△ 123	55	215	146	△ 249	3,109
平成19年3月31日 残高	5,650	2,703	7,546	△ 14	15,886	2,529	55	△ 759	1,824	1,813	19,524

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

単独決算

貸借対照表

(百万円未満切り捨て)

科目	(百万円)	
	第89期 平成19年3月31日現在	第88期 平成18年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	172,488	166,058
現金および預金	2,705	3,239
受取手形	13,406	14,504
売掛金	137,539	128,123
商品	12,424	12,924
前払金	1,469	565
前払費用	66	57
繰延税金資産	506	568
未収金	3,274	2,812
短期貸付金	1,325	3,062
その他	204	446
貸倒引当金	△ 436	△ 247
固定資産	31,015	30,453
有形固定資産	1,902	2,858
建物	1,416	1,747
構築物	33	57
機械および装置	5	9
車輦運搬具	8	7
器具および備品	62	59
土地	376	975
無形固定資産	689	849
ソフトウェア	665	783
諸施設利用権	24	65
投資その他の資産	28,423	26,745
投資有価証券	11,171	12,386
子会社株式	-	5,218
関係会社株式	6,833	-
関係会社出資金	858	-
長期貸付金	1,709	6,276
関係会社長期貸付金	5,098	-
前払年金費用	1,147	940
繰延税金資産	875	194
その他	2,625	3,108
貸倒引当金	△ 1,896	△ 1,378
資産合計	203,503	196,512

科目	(百万円)	
	第89期 平成19年3月31日現在	第88期 平成18年3月31日現在
負 債 の 部		
流動負債	174,807	171,973
支払手形	13,031	16,469
買掛金	127,044	110,287
短期借入金	27,896	38,332
未払費用	1,177	1,252
未払法人税等	1,348	2,115
前受金	2,715	1,642
前受収益	46	18
賞与引当金	775	734
その他	772	1,121
固定負債	13,067	10,941
長期借入金	11,880	9,650
預り保証金	531	594
退職給付引当金	56	42
債務保証損失引当金	450	450
長期未払金	149	204
負債合計	187,875	182,915
資 本 の 部		
資本金	-	5,650
資本剰余金	-	2,703
資本準備金	-	2,703
利益剰余金	-	2,613
当期末処分利益	-	2,613
その他有価証券評価差額金	-	2,633
自己株式	-	△ 4
資本合計	-	13,596
負債および資本合計	-	196,512
純 資 産 の 部		
株主資本	13,061	-
資本金	5,650	-
資本剰余金	2,703	-
資本準備金	2,703	-
利益剰余金	4,713	-
繰越利益剰余金	4,713	-
自己株式	△ 5	-
評価・換算差額等	2,567	-
その他有価証券評価差額金	2,512	-
繰延ヘッジ損益	55	-
純資産合計	15,628	-
負債および純資産合計	203,503	-

損益計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(百万円)	
	第89期 平成18年4月1日～平成19年3月31日	第88期 平成17年4月1日～平成18年3月31日
売上高	581,964	540,260
売上原価	565,535	524,885
売上総利益	16,429	15,374
販売費および一般管理費	10,023	9,675
営業利益	6,405	5,698
営業外収益	1,106	1,108
営業外費用	1,118	1,615
経常利益	6,394	5,191
特別利益	203	832
特別損失	2,204	2,721
税引前当期純利益	4,393	3,302
法人税等	2,425	2,245
法人税等調整額	△ 573	△ 884
当期純利益	2,542	1,942
前期繰越利益	-	671
当期末処分利益	-	2,613

株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(百万円未満切り捨て)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
平成18年3月31日 残高	5,650	2,703	2,703	2,613	2,613	△ 4	10,963	2,633	-	2,633	13,596
当期変動額											
剰余金の配当(注)				△ 442	△ 442		△ 442				△ 442
当期純利益				2,542	2,542		2,542				2,542
自己株式の取得						△ 1	△ 1				△ 1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								△ 121	55	△ 66	△ 66
当期変動額合計	-	-	-	2,099	2,099	△ 1	2,098	△ 121	55	△ 66	2,031
平成19年3月31日 残高	5,650	2,703	2,703	4,713	4,713	△ 5	13,061	2,512	55	2,567	15,628

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

トピックス

中国における現地法人（商社）設立・営業開始に関するお知らせ

当社は、このほど中国・上海市において、新たに国内販売権ならびに輸出入権を有する当社の100%子会社の商業企業「神鋼商貿（上海）有限公司」を設立し、営業を開始いたしました。

記

1. 設立の目的

当社の中国における商社活動は、これまで当社北京駐在員事務所および上海市外高橋保稅区にある保稅区企業「上海神鋼貿易有限公司」において行ってまいりました。しかしながら、中国政府による外資商業企業開放策の一環である「外商投資商業領域管理弁法」が公布されたことにより、当社の重要課題である中国ビジネスのさらなる深耕と拡大のために、同法に基づき、国内販売権および輸出入権を有し、当社と同様の商品を取り扱う新たな商社（外商投資商業企業）を設立することが不可欠と判断いたしました。

今後は、取扱い製品の拡大とともに商社機能を十分發揮して取引の多様化を図り、将来的には他地域への支店展開を推進してまいります。

2. 子会社の概要

(1)商号 神鋼商貿（上海）有限公司
Kobelco Trading (Shanghai) Co., Ltd.

(2)代表者	董事長 永井 庸晴（当社執行役員、中国總代表）
(3)所在地	中華人民共和國上海市
(4)設立	2006年9月
(5)営業開始	2007年1月
(6)事業内容	鉄鋼、非鉄金属、溶材、産業機械等の輸出入および卸売
(7)資本金	US\$3,000,000
(8)出資比率	当社100%
(9)従業員数	32名
(10)売上目標	初年度（2007年度）20億円



中国・蘇州市にアルミ専用コイルセンターを設立

当社は2006年7月に中国蘇州市に全額出資の「蘇州神鋼金属有限公司」を設立しました。

中国初となる本格的アルミ専用コイルセンターで、投資額は7億円。2007年8月の操業を予定しております。

中国では経済の成長と市場拡大に伴い、欧米、日系企業の進出や現地企業の新興が活発化し、自動車分野やIT分野を中心に、アルミ素材の需要急増が見込まれております。

また、自動車部品メーカーや外資系IT機器・部品メーカーは、中国アルミ圧延メーカーの品質向上に伴い現地調達率を高め、生産リードタイムの短縮や生産変動対応を目的としてSCMを推進中であることから、鋼材のみならずアルミ素材についても物流機能を持つ現地コイルセンターからの調達を検討するようになっております。

新会社は、これらユーザーニーズに対応するとともに、当社の

中国市場における業務の拡大を図るために設立しました。

初年度（2007年度）4億円、2010年度18億円の売上を見込んでおります。



おかげさまで60周年（広告デザインを刷新しました）

KOBELCO
神戸製鋼グループ

つくる、むすぶ、ひらく。

新しい価値をつくる。技術と社会をむすぶ。ビジネスの明日をひらく。

神鋼商事
SHINSHO CORPORATION
http://www.shinsho.co.jp

神戸製鋼グループの中核となるメーカー商社の総合力を活かして、お客様のビジネスや豊かな社会づくりに貢献します。
「つくる、むすぶ、ひらく。」—神鋼商事の決意を込めた、新しいスローガンです。

基本コンセプト

【つくる】 神戸製鋼グループの技術を活かした独自の商品開発力、付加価値の創造力を表します。

【むすぶ】 先進の技術と人・社会をむすぶメーカー商社の特長、そして顧客ニーズと技術やビジネスチャンスをつなぐしなやかな組織力を表します。

【ひらく】 顧客の事業をきめ細やかに支援し、グローバルなビジネスを成功に導くサポート力を表します。

総合的には、メーカー商社ならではの総合力を活かし、新しい価値の創造を通じて顧客のビジネスや豊かな社会づくりに貢献する、当社の企業姿勢が込められています。
広告デザインは新ロゴをベースにイメージをデザイン化しました。
昨年11月より新聞、雑誌に掲載されております。

株式の状況

(平成19年3月31日現在)

●株式の概況

発行可能株式総数 270,000,000株

発行済株式の総数 88,583,023株
(自己株式 22,602株を除く)

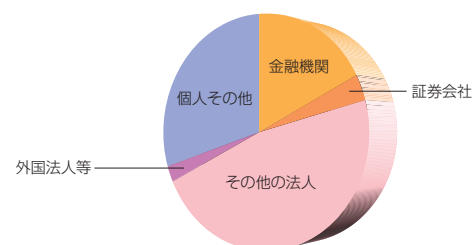
株主数 6,451名

●大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)	株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	30,853	34.83	神鋼電機株式会社	1,500	1.69
神商取引先持株会	4,049	4.57	日本スタートラスト信託銀行株式会社	1,225	1.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,183	2.47	日本生命保険相互会社	1,067	1.20
株式会社三井住友銀行	2,068	2.33	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	932	1.05
日本証券金融株式会社	1,921	2.17	神鋼商事従業員持株会	830	0.94

(注) 1. 持株数は、退職給付信託に提出している株式数を含んでおります。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況

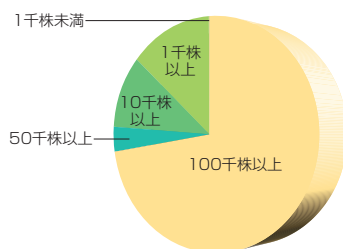


【所有者別】

所有者別	名	千株	%
●金融機関	47	15,544	17.5
●証券会社	44	2,972	3.4
●その他の法人	408	41,430	46.8
●外国法人等	50	2,067	2.3
●個人その他	5,902	26,592	30.0
合計	6,451	88,605	100.0

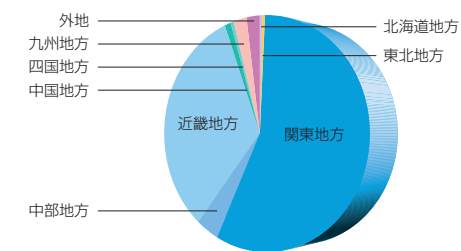
【所有株数別】

所有株数別	名	千株	%
●100千株以上	77	64,228	72.5
●50千株以上	49	3,167	3.6
●10千株以上	559	9,337	10.5
●1千株以上	5,464	11,825	13.3
●1千株未満	302	48	0.1
合計	6,451	88,605	100.0



【地域別】

地域別	名	千株	%
●北海道地方	88	359	0.4
●東北地方	104	352	0.4
●関東地方	2,057	49,654	56.1
●中部地方	947	3,300	3.7
●近畿地方	2,350	29,591	33.4
●中国地方	321	912	1.0
●四国地方	185	457	0.5
●九州地方	353	2,087	2.4
●外地	46	1,893	2.1
合計	6,451	88,605	100.0



役員 (平成19年3月31日現在)

【取締役および監査役】

代表取締役社長	森 脇 亞 人
代表取締役	中 安 悠
代表取締役	福 田 清 和
代表取締役	原 三 郎
取締役	廣 田 邦 彦
取締役	高 橋 伸
監査役 (常勤)	津 川 邦 夫
監査役 (常勤)	中 村 三 二
監 査 役	坂 口 史 生
監 査 役	平 野 重 蔵

【執行役員】

※ 社 長	森 脇 亞 人
※ 専務執行役員	中 安 悠
※ 専務執行役員	福 田 清 和
※ 専務執行役員	原 三 郎
専務執行役員	中 塚 隆 次
常務執行役員	山 内 茂 樹
常務執行役員	廣 瀬 範 義
※ 常務執行役員	廣 田 邦 彦
常務執行役員	名 波 正 夫
常務執行役員	小 村 信 綱
※ 常務執行役員	高 橋 伸
執行役員	永 井 庸 晴
執行役員	佐 藤 育 夫
執行役員	新 藤 和 敏
執行役員	松 本 博 明
執行役員	笹 川 浩 史
執行役員	小 林 清 文

(注) 上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

会社概要

設 立 昭和21年11月12日
発行済株式総数 88,605,625株
資 本 金 5,650,281,250円
主要取扱品目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材

事業所

- 大阪本社 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号
- 東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2番5号
- 名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号
- 九州支社 福岡市博多区博多駅中央街1番1号
- 神戸支社 神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号
- 支 店 中国(広島)、静岡、北陸(富山)、東北(仙台)、札幌
- 出 張 所 熊本、長府、徳山、加古川、岐阜、群馬



- 海外事業所 シドニー、ブタペスト、ジャカルタ、北京
- 海外現地法人 シドニー、ロスアンゼルス、デトロイト、コネチカット、バンコク、アユタヤ、チョンブリ、クアラルンプール、シンガポール、上海、台北、マニラ、ソウル

連結子会社

■ 鉄鋼	Thai Escorp Ltd.	上海神商貿易有限公司
神商鉄鋼販売(株)	Shinsho (Malaysia) Sdn. Bhd.	台湾神商股份有限公司
Shinsho American Corporation	Shinsho (Philippines) Corporation	
Shinsho Australia Pty. Ltd.		■ 溶材
Grand Blanc Processing, L.L.C.		神商コウベウエルディング(株)
Seymour Wire, Inc.		■ 機械・情報
	アジア化工(株)	
	フェアチャイルド・シンショウ・セミコン(株)	■ その他事業
	(株)エム・エム・ジェー	神商開発(株)
■ 非鉄金属	神商電子部品(株)	神商ビジネスサポート(株)
神商非鉄(株)	韓国神商(株)	
Shinko Shoji Singapore Pte. Ltd.		